

一般国道220号（東九州自動車道）油津・夏井道路に係る新規事業採択時評価

- ・南海トラフ地震時の津波浸水域を回避し、災害時の救援活動等にも機能する信頼性の高い高速ネットワークを形成
- ・宮崎県内で有数の木材产地と物流拠点の志布志港を結ぶ、重要な物流道路を形成し、地域の主要産業を支援
- ・油津港と連携した広域周遊観光ルートを形成し、観光振興を支援

1. 事業概要

・起終点:

油津区間: 宮崎県日南市大字平野～

日南市南郷町中村甲

串間・夏井区間: 宮崎県串間市大字串間～

鹿児島県志布志市大字志布志町帖

・延長等: 20.5km

油津区間: 6.4km

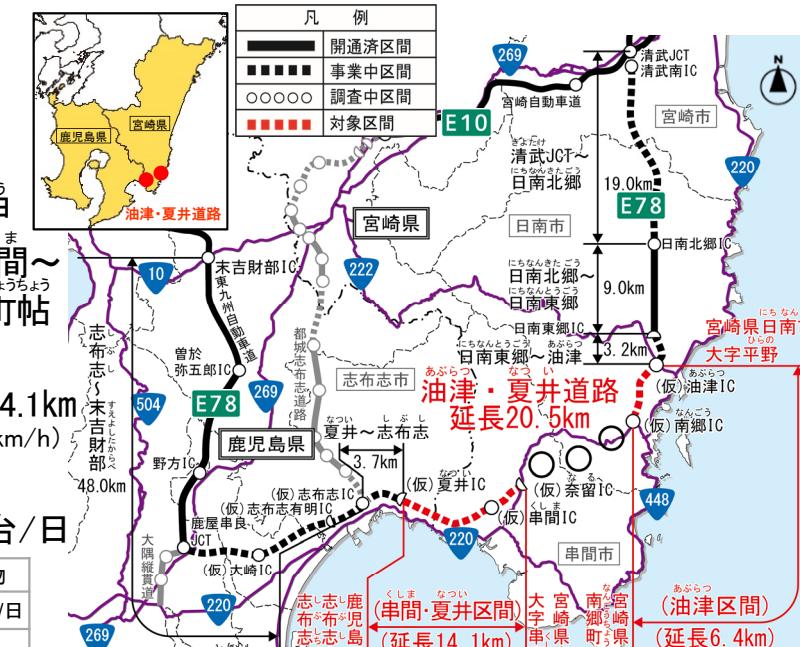
串間・夏井区間: 14.1km

(第1種第3級、2車線、設計速度80km/h)

・全体事業費: 約750億円

・計画交通量: 約4,700～13,100台/日

	乗用車	小型貨物	普通貨物
油津区間	約8,900台/日	約2,400台/日	約1,800台/日
串間・夏井区間	約2,500～3,000台/日	約800～1,400台/日	約1,400台/日

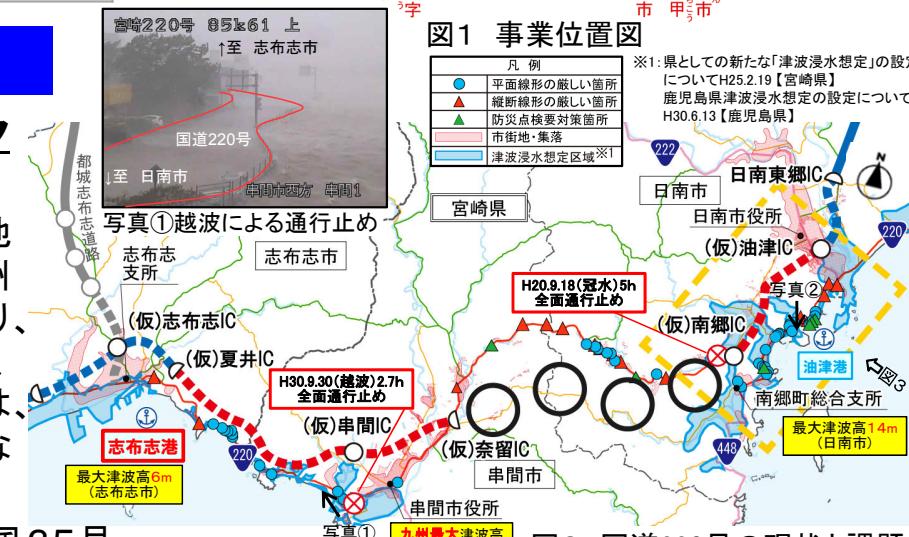


2. 課題

①災害時におけるネットワークの脆弱性

・当該沿線地域では、南海トラフ地震による最大津波高さが、九州で最大の17mと想定されており、並行する現道の国道220号は、津波により約4割が浸水。更には、防災上危険な箇所も存在するなど、被災リスクが高い。【図2,3】

・直近では、平成30年9月の台風25号の影響により、串間市で越波による道路冠水で通行止めになるなど、災害に対し非常に脆弱。【図2,写真①】

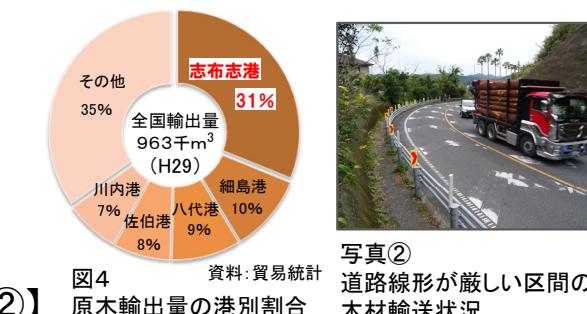


②物流拠点への走行性、安全性向上

・宮崎県の杉丸太生産量は、27年連続日本一で、そのうち、県の代表ブランド「飫肥杉」は日南市や串間市が主な产地であり、主に志布志港から輸出。

・また、志布志港では、原木輸出量が国内シェアの3割を誇る日本一の木材出荷拠点であり、地域の産業にとって重要な物流拠点。【図4】

・しかし、その主な輸送経路である国道220号は、道路線形が厳しい箇所が多く存在し、輸送効率に影響するなど、走行性、安全性に課題。【図2,写真②】



写真② 道路線形が厳しい区間の木材輸送状況

③広域周遊観光に不可欠な高速ネットワーク

・油津港へ寄港するクルーズ船は、近年、大幅に増加傾向で、また、油津港では世界最大級のクルーズ船(22万トン級)の受け入れ可能な岸壁を整備するなど、観光振興に注力している。【図5】

・一方で、高速ネットワークがなく、広域移動や定時性の確保が困難な日南市、串間市、志布志市においては、観光客数が伸び悩んでいる状況。【図5,6】

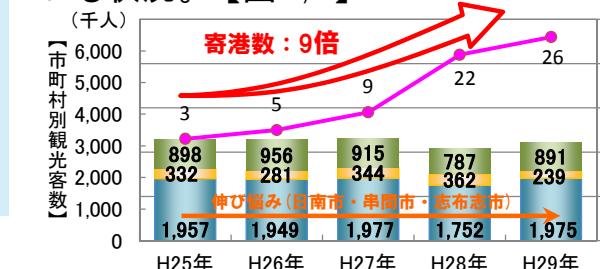


図5 油津港クルーズ船寄港数と観光入込客数の推移



図6 主要観光地と整備により期待される周遊ルート

3. 整備効果

効果1 防災機能の向上【◎】

【宮崎県国土強靭化地域計画・鹿児島県地域強靭化計画】 【現況】 【整備後】

・現道の津波浸水区間や防災上危険な箇所を回避し、災害時の救助活動等においても機能する信頼性の高い高速ネットワークを形成。

効果2 物流効率化による地域産業を支援【◎】

【未来みやざき創造プラン】 【かごしま未来創造ビジョン】 【現況】 【整備後】

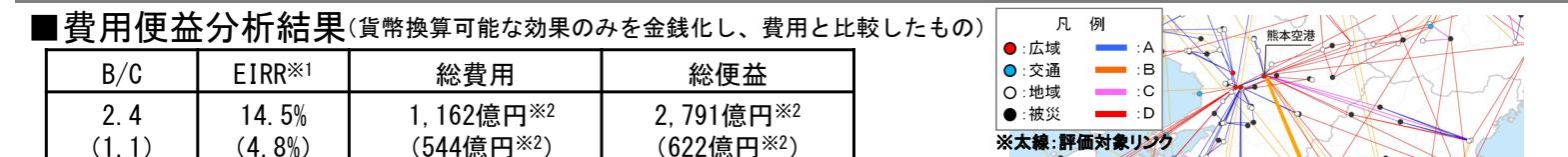
・現道の道路線形が厳しい箇所を回避することにより、走行性、安全性が向上し、物流効率化による地域産業を支援。

効果3 広域周遊観光ルート形成による観光振興を支援【◎】

【宮崎県観光振興計画】 【鹿児島県観光振興基本方針】

・油津港から周辺観光地への移動時間短縮等により、広域周遊観光ルートが形成され、観光振興支援。

■油津港↔イルカランドの所要時間: 【現況】56分 ⇒ 【整備後】41分 (15分短縮)



■道路ネットワークの防災機能評価結果

改善ペア数	脆弱度(防災機能ランク)		累積脆弱度の変化量	改善度	評価
	整備前	整備後			
8 (3)	1.00 (1.00) [D]	0.22 (0.28) [B]	▲139.92 (▲22.81)	0.21 (0.08) 0.88 (1.00)	◎

※上記の値は清武JCT～志布志ICを対象とした場合、下段()書きの値は事業化区間を対象とした場合の防災機能評価結果



図7 整備後の防災機能ランク

一般国道220号（東九州自動車道）油津・夏井道路に係る新規事業採択時評価

